

鶴崎地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信

第2号

発行：令和3年1月15日 鶴崎地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行しています。

「地域まちづくりビジョン」とは

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取組をまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

●鶴崎地域の将来像（コンセプト）【みんなが住みたくなる伝統と文化のある街】

○将来像実現に向けた提言

提言1：鶴崎の伝統・文化を「まもり」「つなげる」「いかす」

鶴崎地域にしかない伝統と文化を守り、次の世代へつなげ、観光資源などに生かす取組を行うことで地域の活性化を図るべきです。

- 【提案事業】：①豊かな歴史と伝統文化の継承 ②史実の顕彰による観光連携の強化
③地域イベントの拡大事業 ④鶴崎地域の農業の振興

提言2：豊かな川の恵みをみつめなおす

鶴崎地域を流れる一級河川である大野川と乙津川の恵みを生かした取組を行うことで特色ある街づくりを行うべきです。

- 【提案事業】：①大野川、乙津川の河川敷を利用したスポーツ施設整備とマラソン大会の実施
②川を活かした街づくり事業
③防災と豊かな川を活かした街づくり

提言3：鶴崎駅や鶴崎市民行政センター周辺を核とした街のにぎわいづくり

鶴崎駅を起点とした鶴崎地域の南北を結ぶ交通網の整備や地域コミュニティ機能、防災機能を充実させるために公民館を整備するなど、住民生活の利便性を向上させ、さらに地域外から人が集まる街を作ることで鶴崎地域全体の活性化を図るべきです。

- 【提案事業】：①鶴崎駅周辺の整備 ②鶴崎市民行政センター周辺の整備

提言4：将来住みたくなる街づくりに向けた取組を推進

鶴崎地域の未来を担う子どもたちが将来もこの鶴崎に住みたくなるような街を作るために、教育環境の充実や地域の防災力を強化する取組などを行うべきです。

- 【提案事業】：①地域全体の防災力の強化 ②鶴崎地域の学力向上、地域間交流
③空き家、空き地を活かした地域コミュニティ活動の推進
④高田校区に多目的グラウンドの整備 ⑤将来住みたくなる街づくり

フォローアップ会議とは

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政が一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域や私たちでできること」のそれぞれのテーマにおいて、進捗状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

【令和2年度鶴崎地域まちづくりビジョンフォローアップ会議】

日時：令和2年11月6日（金）14時～

場所：鶴崎市民行政センター2階 大会議室

議事

- (1)会議の公開について
- (2)地域まちづくりビジョンについて
- (3)地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (4)地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について
- (5)意見交換
- (6)今後の予定について



地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況及び意見交換の内容(抜粋)

会議では、各事業の取組状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。本通信では、そのうち主要内容について以下に掲載しました。これからも鶴崎地域がさらに魅力ある街となるよう、地域の皆さんと行政が協力しながら各事業の取組を進めていきます。

【提言1：鶴崎の伝統・文化を「まもり」「つなげる」「いかす」】

（事業名）豊かな歴史と伝統文化の継承

- ・「鶴崎踊」「三佐の山車」「けんか祭り」などの伝統や文化を継承する
- ・伝統文化継承の拠点となる鶴崎公民館を整備する
- ・地域の子どもが伝統文化とふれあう取組を行う



【事業の取組状況】

（行政）地域において守り伝えられてきた祭りなどの伝統文化の継承・再興・発展に寄与する事業を行う団体に対して、必要な道具の購入や修理などに係る費用に対して助成している。

（地域）鶴崎おどり保存会が、鶴崎小学校で毎週月曜日に鶴崎踊の基本形の指導を行っている。また、鶴崎踊を次世代に継承しようと、三佐小学校でも今年度新たに「鶴崎踊りクラブ」が発足した。

【会議で出された意見等】

- ・松岡小学校から鶴崎踊を勉強したいとの依頼があり、鶴崎おどり保存会が松岡小学校の学習の場に参加させてもらう。多くの皆さんに鶴崎踊を学んでほしい。
- ・鶴崎3大祭りに加えて、薩摩の兵が攻めてきたとき吉岡妙林尼が立ち上がった日に、鶴崎妙林尼祭りをしてはどうかという意見もある。商店街の中心地である鶴崎校区公民館の前に妙林尼の像があるので、これをもっと活かしたものをしてはどうかと考えている。

（事業名）鶴崎地域の農業の振興

地域の名産品であるこら、水耕セリ、ミツバ、大葉の生産振興につなげる

【事業の取組状況】

（行政）認定農業者等の担い手が行う栽培施設の整備に対し補助金等の支援を行っている。

【 会議で出された意見等】

市民農園みたいなのに申し込むけど、なかなか空きがない。農業をやりたいという人は土地がないし、余っている土地は荒れている。農業を通してまちづくりを発展させるためには、市民が集まって農業ができる場所を確保する必要があると感じている。

【 提言 2：豊かな川の恵みを見つめなおす 】

（事業名）川を活かした街づくり事業

- ・豊かな川がもたらす水の恩恵を子どもたちの郷土愛を育む教育へと生かす
- ・大野川沿いの幹線道路を整備する
- ・川がもたらす資源を守り、育んで有効活用する

【 事業の取組状況 】

（地域）三佐校区では、貴重な動植物が生息する乙津川下流海原橋付近の砂州、塩湿地の自然環境を守るため、定期的な清掃活動を行うとともに、自然観察会や探鳥会を開催している。

【 会議で出された意見等】

かなり以前から乙津川の塩湿地に生育する植物の調査を行っている。見られなくなったものもあるが、立派な群落がまだ残っている。北風が吹くといろんな浮遊物が海原地区の岸に打ち上げられ希少種が埋もれてしまうので、三佐では地域の方が特に気を付けてそのごみを取り除く作業をしている。



ハマボウ

【 提言 3：鶴崎駅や鶴崎市民行政センター周辺を核とした街のにぎわいづくり 】

（事業名）鶴崎駅周辺の整備

- ・鶴崎駅周辺のバスの利便性を向上させる
- ・地域を循環するバス路線があれば街の活性化につながる
- ・鶴崎駅周辺にカフェやレストランができればにぎやかになる

【 事業の取組状況 】

（行政）鶴崎駅前広場や周辺の道路整備など鶴崎駅を中心としたまちづくりについて、令和 3 年度中にランドデザインを策定する予定である。

【 会議で出された意見等】

駅とバスターミナル（センター）がセットであることがまちづくりには一番いいと思っているが、鶴崎駅にはない。国道 197 号は 4 車線化に取り組んでおり、東西の交通は非常に便利がいい。鶴崎駅にバスターミナル（センター）を造れば南北が非常に良くなるのではないかと考えている。

（事業名）鶴崎市民行政センター周辺の整備

- ・防災機能を持った総合コミュニティセンターとして、鶴崎公民館を整備する
- ・公民館の機能充実、利用者の利便性の確保を図るための鶴崎公園の整備

【 事業の取組状況 】

（行政）鶴崎公民館については、長寿命化改修を実施し、施設の利便性の向上及び機能充実を図る中で、エスペランサ・コレジオや老人いこいの家を取り込んで複合化するとともに、防災機能の強化を行うこととしている。

【 提言 4：将来住みたくなる街づくりに向けた取組を推進 】

（事業名）地域全体の防災力の強化

- ・地域のインフラを強化して防災面を強化する
- ・地域住民の防災意識を向上させる

【 事業の取組状況 】

（地域）三佐校区では、昨年度、大分市と連携して「三佐命山」で防災訓練を行い、ヘリコプターによる救助訓練の見学や地震体験車による激しい揺れの体験、消火・救護・炊き出しの訓練を行った。



【 会議で出された意見等】

地域の皆さん方に消防団の活動をより深く知っていただくために、どのような活動をしているか写真付きの広報紙を分固ごとに作成し、皆さんにお知らせしていこうと取り組んでいる。

（事業名）将来住みたくなる街づくり

- ・道路や公共交通の機能を充実させ、生活の利便性を向上させる
- ・子どもや高齢者福祉を充実する
- ・地域の歴史を活かした街づくりを行う
- ・企業の誘致や地域の大企業との連携を行う
- ・鶴崎駅前を活性化させる
- ・地域の少子高齢化への対策を行う

【 事業の取組状況 】

（行政）歴史・文化などの特性を活かした地区拠点の形成に向けた JR 鶴崎駅周辺の整備など、「大分市都市計画マスタープラン」地区別構想における鶴崎地区のまちづくりの目標である「歴史と伝統の息づく居住型拠点の形成」を目指し検討していく。

【 会議で出された意見等】

地域の高齢者を訪問することがあるが、通院や買い物に行きやすくなるよう交通弱者対策をやらないといけないと思う。

～今後の予定～

□地域で活動する団体を対象とした「ふれあい市長室【鶴崎地域】の開催

日 時：令和 3 年 1 月 29 日（金）18 時から

対象団体：大分商工会議所鶴崎商工青年部

地域において活動を行う団体を対象に「ふれあい市長室」を開催し、ビジョンに関わる団体の活動報告を受けるとともに、市政に対する意見や提言を幅広く伺い、相互理解を深め、市民と行政との一体感を醸成します。

鶴崎地域における「ふれあい市長室」につきましては、「清正公二十三夜祭歩行者天国」や「おおいのがわ Smile RUN」を開催しております大分商工会議所鶴崎商工青年部を対象に開催する予定です。（新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、中止する場合があります。）